

令和7年度

図画工作科

評価規準

月	題材名	内容	時間数	学習のめあて		観点別評価規準	単元の到達目標
4	季節を感じて	絵	4	知	表したいことが伝わるように、色使いや筆使いを工夫する。	知 自分がもった季節のイメージを絵に表すことを通して、形や色、奥行き、色の鮮やかさを理解している。	形や色、奥行き、色の鮮やかさなどの造形的な特徴をもとに、自分のイメージを豊かにもち、感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見つけ、形や色、描画材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、自分なりのこだわりをもち、どのように表すか考えている。
						技 描画材料を適切に活用し、これまでの描画材料についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	
				☆ 思	季節を感じて、表したいことや表し方を考える。	発 季節を感じて表したいことを見つけ、形や色、描画材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。	
						鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	
				学	季節を味わい、描くことをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、自分がもった季節のイメージを絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
5	ビー玉大ぼうけん	工	4	知	ビー玉の転がり方を試しながら、コースのつくり方を工夫する。	知 コースのしかけによる玉の転がり方から、ものの動きやバランスを理解している。	互いのアイデアをし合いながら力を合わせてコースターをつくり、友達と積極的に関わりながら遊んだりつくりかえたりする学習活動に主体的に取り組もうとしている。
						技 玉の転がり方を試しながら、紙を折ったりつないだりしてコースのしかけのつくり方を工夫して表している。	
				思	転がると面白いコースやしかけを考える。	発 玉の転がり方をもとにしかけを思いつき、つくりたいコースのイメージをもちながらどのように表すか考えている。	
						鑑 作品で遊び、友達のコースの面白さやしかけの工夫を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
				☆ 学	友達と協力してつくることをたのしむ。	主 力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、コースターをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
5	線から生まれた わたしの世界	絵	2	☆ 知	線の描き方や組み合わせ方を工夫する。	知 いろいろな線を描くことを通して、線で表す形や色を理解している。	発想豊かに想像を広げ、表したいことに合わせて線の描き方や組み合わせ方など、表し方を工夫して表している。
						技 表したいことに合わせて線の描き方や組み合わせ方などの表し方を工夫して表している。	
				思	線を描きながら表したいことを考える。	発 線を描きながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
						鑑 線による表現のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
				学	いろいろな線を描くことをたのしむ。	主 思いのままに線で表す喜びを味わい、線で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
6	ねん土で動きをハイ、ポーズ！	立	2	☆ 知	ねじったりひねったりして、動きの出る表し方を工夫する。	知 粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりすることから、立体で表す動きやバランスを理解している。	粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりすることから、立体で表す動きやバランスを理解するとともに、実際の体の動きを角度を変えて見たり、自分でポーズをとってみたりすることで、体の構造を意識しながら粘土の形を変えていくなど、表し方を工夫して表している。
						技 粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりするなどして、動きを表すために表し方を工夫して表している。	
				思	動きの感じをとらえ、表したいポーズを考える。	発 人の動きやバランスなどから、自分のイメージをもって表したい動きを思いつき、どのように表すか考えている。	
						鑑 自分や友達の作品から動きを表す造形的な美しさや表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
				学	粘土の触り心地を味わい、動きをたのしく表す。	主 粘土の触り心地を味わい、人の動きを粘土で表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
6～7	だんボールでためしてつくって	立	4	知	段ボールの折り曲げ方や切り方、組み合わせ方を工夫する。	知 段ボールを材料とした表現を通して、動きやバランスを理解している。	段ボールの形の変え方を試す中でイメージを広げ、段ボールの加工のしかたを試したり見つけたりして思いついたことをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
						技 段ボールの特徴を生かし、カッターナイフなどの用具を活用しながら折り方や曲げ方、組み合わせ方などを工夫して表している。	
				☆ 思	段ボールの特徴から表したいものを考える。	発 段ボールの加工のしかたを試したり見つけたりして思いついたことをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
						鑑 段ボールの加工の工夫や作品のよさを互いに感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
				学	段ボールをいろいろな形に変えて、つくることをたのしむ。	主 段ボールの特徴を生かしてつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
				知	ローラーを使った表し方を工夫する。	知 ローラーを使って表すことを通して、形や色、それらの組み合わせやバランス、色の鮮やかさを理解している。	ローラーの技を試行錯誤しながらローラーを使ってできた形や色から想像し、表したいことを見つけて、自分なりのこだわりをもって、どのように表すか考えている。
						技 ローラーによる表現の特徴を生かして、他の材料や方法を組み合わせた表し方を工夫して表している。	

月	題材名	内容	時間数	学習のめあて		観点別評価規準	単元の到達目標
7	コロコロ ローラーダンス	絵	2	☆ 思	段ボールの特徴から表したいものを考える。	発 ローラーを使ってできた形や色から想像し、表したいことを見つけて、どのように表すか考えている。	
						鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	
				学	ローラーを使ってたのしく活動する。	鑑 つくりだす喜びを味わい、ローラーで表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
9	進め！糸のこたん検隊	工	6	☆ 知	電動糸のこぎりの使い方や板の組み合わせ方を工夫する。	知 板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解している。	板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解するとともに、電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を自分なりにこだわりをもって工夫して表している。
						技 電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫して表している。	
				思	切った板を組み合わせながら、表したいことを考える。	発 形や色、バランスなどをもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。	
						鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	
				学	電動糸のこぎりで板を切ることをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、板材を電動糸のこで切り、板材を組み合わせてつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
10	重ねて広がる形と色	絵・版	6	☆ 知	彫刻刀の使い方や刷る色などを工夫する。	知 版による表現を通して、色の重なりや組み合わせ、形のバランスなどを理解している。	彫り進めながら発想を豊かに広げて形を構成し、重ねる色の効果をよく考えて刷り重ねて表現している。
						技 彫り進み版画の特徴を生かして、彫る形や重ねて刷る色など表し方を工夫して表している。	
				思	彫りと刷りの繰り返しから表したいことを考える。	発 彫りと刷りの繰り返しから想像を広げて表したいことを見つけ、どのように表現するか考えている。	
						鑑 自分や友達の作品のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
				学	彫りと刷りを繰り返して表すことをたのしむ。	主 彫り進み版画の活動に関心をもち、彫りと刷りを繰り返して表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
11	くるくる回して	工	6	☆ 知	形や色、動く仕組みづくりなどを工夫する。	知 クランクの仕組みを使ったおもちゃづくりを通して、仕組みや材料の形や色などを理解している。	クランクの仕組みを使ったおもちゃづくりを通して、仕組みや材料の形や色などを理解するとともに、身辺材料などを活用し、これまでの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせるなどして、表し方を工夫して表している。
						技 身辺材料などを活用するとともに、これまでの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせるなどして、表し方を工夫して表している。	
				思	揺れ棒の動きからおもちゃを考える。	発 動きやバランスをもとに、自分のイメージをもちながら、仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことなどから表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながら、どのように主題を表すか考えている。	
						鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などついて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。	
				学	繰り返しの動きの面白さをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、クランクの仕組みを使って動くおもちゃをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
12	地球まるごと たからばこ	遊	3	知	自然の材料と場所の組み合わせ方を工夫する。	知 自然の材料と場所との組み合わせから、自然や材料の形や色、空間などを理解している。	クランクの仕組みを使ったおもちゃづくりを通して、仕組みや材料の形や色などを理解するとともに、身辺材料などを活用し、これまでの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせるなどして、自分なりに表し方を工夫して表している。
						技 これまでの経験を生かして、自然の材料や場所の特徴を活用したり、技能を総合的に生かしたりして工夫してつくっている。	
				思	材料や場所の特徴を生かして何ができるか考える。	発 材料を集めたり、場所を探したりすることから発想を広げ、その特徴や周囲の様子を考えあわせながら活動することを考えている。	
						鑑 身近な場所と自然の材料の組み合わせから、変えていった場所のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	
				☆ 学	自然の材料に親しみ、友達と協力してたのしく活動する。	主 友達と協力して、自然のある場所や材料に働きかける学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
1	あったらいい町 どんな町	絵	4	知	思いついた形や色の組み合わせを工夫する。	知 絵の具やクレヨンを使って想像した町を描くことによって、バランスや色の鮮やかさを理解している。	どんな建物があるか、どんな住人がいるか、何が起きるのか、具体的にあったらいいなという町を豊かに想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。
						技 想像した表したいことに合わせて、これまでの描画材料の経験を生かし、形や色の表し方を工夫して表している。	
				☆ 思	想像を膨らませて、表したい空想の町を考える。	発 あったらいいなという町を具体的に想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。	
						鑑 自分や友達の作品のよさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。	

月	題材名	内容	時間数	学習のめあて		観点別評価規準	単元の到達目標
				学	あったらいいなと思う町を描くことをたのしむ。	主 想像を広げる喜びを味わい、想像の町を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
2	わたしの町のひみつ教えます	鑑	2	知	作品に描かれている町の様子を見て、形や色の特徴に気づく。	知 作品に描かれている町の様子を見て、形や色など理解している。	住人はどんな人か、何が起きるのか、どんなことができるのか、想像を膨らませて、積極的に自分の意見を伝えている。友達の意見も聞いて自分の見方をいっそう深めている。
						技	
				☆ 思	町の作品からいろいろなことを想像して見方や感じ方を深める。	発	
						鑑	
				学	互いの感じ方のよさや違いをたのしんだり味わったりする。	主 互いの感じ方のよさや違いを味わい、町の作品を鑑賞する学習活動に主体的に取り組もうとしている。	
2～3	動いてクレイアニメーション	工	8	知	キャラクターの動かし方やコマのつながりを工夫する。	知 オリジナルのキャラクターでアニメーションをつくることを通して、動きを理解している。	板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解するとともに、電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を自分なりにこだわりをもって工夫して表している。
						技	
				思	キャラクターに合わせた動きとお話を考える。	発 キャラクターからお話を想像して表したいことを思いつき、動かし方やコマのつながりをどのように表すか考えている。	
						鑑	
				☆ 学	友達と協力してクレイアニメーションをつくることをたのしむ。	主 友達とアイデアを出し合い、協力してクレイアニメーションをつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。	